

夏の雑木林を探検しよう！！（その1）

- 1 日時：平成28年7月31日（日）
午前の部 11：00～12：00
午後の部 13：15～14：15
- 2 場所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：25人（大人14、子ども11）
- 4 講師：多田 雅充さん（自然観察指導員の会）
- 5 主催：福井県里山里海湖研究所、福井県自然保護センター
- 6 イベントのようす：



涼しい雑木林の中で生きもの探し



散策しながら生きもの観察する様子



ダケカンバの皮は油分が多く、昔は着火剤代わりに
なっていました

夏休みまただ中、親子連れを中心に大勢の方に参加していただきました。

プログラムは午前、午後とも同じプログラムで開催しました。

まずはとっても暑い広場と、涼しい雑木林の中の違いを体感していただきました。（体感だけでなく温度計でも3度低くなっていました。）また、樹皮にも触ってもらい、木の冷たさも感じていただきました。

その後、自然観察の森を少し散策し、オオバクロモジやキキョウなど途中見られた生きものの観察、説明を行いました。

せっかく多くの子供たちが参加してくれたので、散策する途中、ススキを使ったススキロケット飛ばし、オオバコの茎を使った綱引き遊びなど昔懐かしい自然遊びも行いました。

子供たちには新鮮な遊びだったようで、夢中になって遊ぶ姿が見られました。大人の方は「昔やったなあ～懐かしいなあ」との声が多く、さすがに上手な方ばかりでした。

また、ダケカンバの皮に、少し火をつけて、燃えるところをみていただいたり（左写真参照）、ギシギシの葉をつかって、10円玉をきれいにしてもらったりしながら、樹木や植物にはどんな性質があるのか、どのように利用されてきたのかを学んでいただきました。

大人から子供まで興味をもってもらえるよう、体感型のプログラムになっていたため、参加された皆さんはとても楽しんでおられました。